



# 有機フッ素化合物 (PFOS、PFOA、PFHxS、PFCAs)の分析

各種材料中のPFOS、PFOA、PFHxS、PFCAsの分析をお引き受けいたします。

## 法規制の動向

PFOS(ペルフルオロオクタンスルホン酸)やPFOA(ペルフルオロオクタン酸)、PFHxS(ペルフルオロヘキサンスルホン酸)は、安定した構造であるため環境中で分解されにくく、高い生体中への蓄積性があることが知られています。このため、PFOS及びPFOAはPOPs条約(残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約)の対象物質として登録されており、PFHxSは2022年に対象とされる可能性があります。

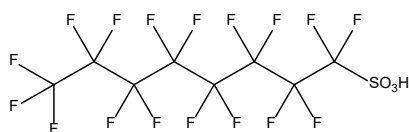
また、2021年8月4日のREACH規制改正により欧州連合(EU)ではC9-14のPFCAs(ペルフルオロカルボン酸類)が規制されることになりました。すでに規制対象となっているPFOS、PFOA、PFHxSと同様に、PFCAsは2023年2月以降 PFCAsおよびその塩を25 ppb以上含有する混合物や成形品について、製造・使用及び上市が原則禁止となります。

## 当社の環境負荷物質分析サービスの特徴

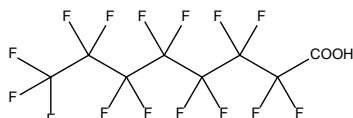
PFOSやPFOA、PFHxS、PFCAsは、フッ素ポリマー加工助剤、消火剤、界面活性剤、めっき等に使用されています。当社では質量選択性の高い液体クロマトグラフ/タンデム質量分析計(LC/MS/MS)を用いた分析法を採用しており、複雑なマトリクスを試料でも精度よく分析することが可能です。

### ● 分析対象物質

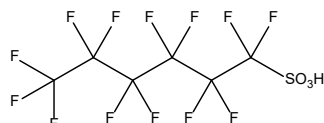
PFOS; ペルフルオロオクタンスルホン酸



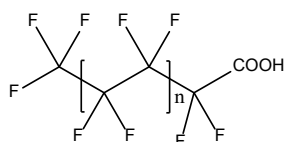
PFOA; ペルフルオロオクタン酸



PFHxS; ペルフルオロヘキサンスルホン酸



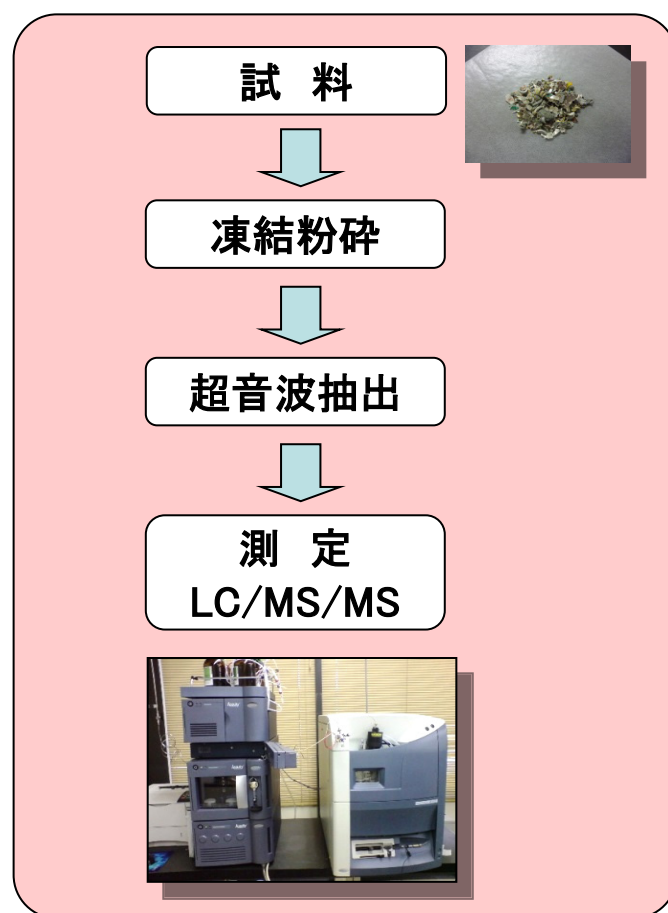
PFCAs; ペルフルオロカルボン酸類



### ● 対象試料の例

- ・ 排水
  - ・ 撥水性布
  - ・ 消火剤
  - ・ ポリマー加工品
  - ・ フッ素系樹脂材料
  - ・ 表面処理剤
- 等

### ● 分析方法の例



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2019 - 2022 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.  
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。